

# 自閉症・発達障害特性シート WSO01

日付: / /	氏名 ( )	記入者:
<b>特 性</b>	<b>本人の行動・様子・特性解説</b>	<b>指導・支援の方向性</b>
コミュニケーション・社会	<b>受容コミュニケーションの特性</b> 言語指示の理解の困難さ、字義どおり理解する、言語指示やその他の情報を整理してつかむことができない、情報を部分的に理解するなど	
	<b>表出コミュニケーションの特性</b> 無言語、自発的表出コミュニケーションが少ない、遅延反響言語、即時反響言語、声の調子やリズム、独特な言葉の選び方、意思交換の困難さ など	
	<b>社会性・対人関係の特性</b> 一人であることを好む、アイコンタクトやジョイントアテンション、セオリ・オフ・マインドの困難さや独特さ、自発的にかかわりをもつことの困難さ など	
注目・優先順位・一般化の特性	<b>注意・注目の特性、転導性、衝動性</b> 転導的・衝動的な行動、切り替えの困難さ、強い注目、注目することの困難さ、不注意や多動的行動 など	
	<b>時間の整理統合の特性</b> 活動の見通しの難しさ、日程の計画と調整、活動や手順の調整、時間の境界イメージが困難さ、実行機能の困難さ、活動の優先順位の独特さ など	
	<b>空間の整理統合の特性</b> 自分の位置や材料や道具の位置の決定と調整、1つの場所の多目的利用の困難さ、空間の境界イメージの困難さ など	
	<b>変化の対応の特性</b> 場所、物、人、予定、習慣の変化の不安・抵抗、1つの状況、流れを保持しようとする、強迫的な行動、ルーティンの必要性 など	
	<b>関係理解の困難さ</b> 関連づけの独特さ、関連づけが難しい、自己流の解釈、字義どおりの解釈、絵などを具体的にとりすぎる、抽象的な意味の苦手さ など	
	<b>一般化の特性</b> 習得したスキルや人や物への対応を他の場面、違う文脈で状態が変わる。材料・場面・指導者が変わったときに課題を遂行できない など	
記憶の特性	<b>記憶の維持の特性</b> 短期記憶・作業記憶などの維持の困難さ、刺激や情報が入った時の記憶の維持への影響 など	
	<b>長期記憶の特性</b> 長期に脳に維持される記憶、経験した記憶が消えない特性、経験したことと正確で部分の繰り返し・再現するなど	
<b>感覚の特異性</b> 視覚刺激、聴覚刺激、味覚刺激、嗅覚刺激、触覚刺激、固有覚、前提覚 などによる反応、拒否、鋭敏さ、鈍感さ など		
<b>微細運動・粗大運動</b> 手と目の対応の困難さ、手先の不器用さ、緊張のある動き、柔軟さのない体全体の動き など		
<b>その他の特性</b> 感情のコントロール、不安の状態、自尊心の低下、他の合併症 など		
<b>理解に関する特性</b> (何を見て理解できるか)		

\*シートの記入方法に関しては書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』（14～17頁）を参考にしてください。検索"自閉症 フレームワーク"